

色彩について（景観形成基準（個別基準））

【建築物の建築等】（計画書 P.85）

①周辺の自然の景色やまちなみと調和するような色彩とし、マンセル表色系による彩度は6以下を目安とすること。ただし、次の場合はこの限りでない。

- ・増築する場合の既存建築物

②アクセントカラーを使用する場合は、見付面積の5分の1以下の面積を目安とし、基調となる色彩との調和やバランスに配慮すること。

【工作物の建設等】（計画書 P.86）

①周辺の景色やまちなみと調和するように、落ち着いた色彩とし、マンセル表色系による彩度は6以下を目安とすること。ただし、次の場合はこの限りでない。

- ・増築する場合の既存工作物

②アクセントカラーを使用する場合は、見付面積の5分の1以下の面積を目安とし、基調となる色彩との調和やバランスに配慮すること。

補足資料：マンセル表色系について

色は、イメージに個人差があり、ひとつの色を正確に表すことが難しくなります。そこで、JIS（日本工業規格）標準色表として採用されている「マンセル表色系」を使用します。「マンセル表色系」では、色彩を「色相（色合い）」、「明度（明るさ）」、「彩度（鮮やかさ）」の3つの属性の組み合わせで表現します。

「色相」

色相とは、色合いを表します。色相は、赤(R)・黄(Y)・緑(G)・青(B)・紫(P)の5色と、それぞれの間の黄赤(YR)・黄緑(GY)・青緑(BG)・青紫(PB)・赤紫(PR)の5色の中間色相を加えた10種の基本色で構成します。

「明度」

明度とは、色の明るさを表します。色の明るさの度合いを、完全な黒を0、完全な白を10とし、数値で表します。暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなり10に近くなります。

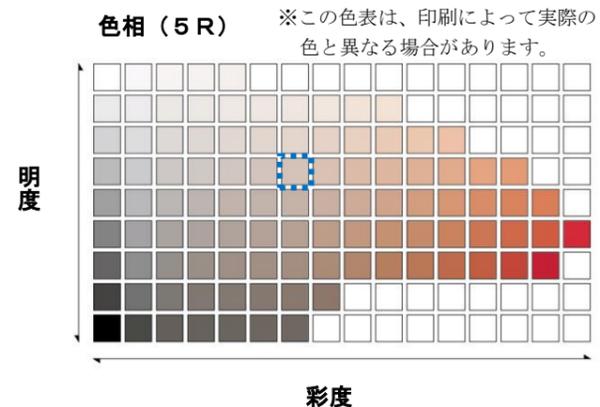
「彩度」

彩度とは、鮮やかさを表します。色の鮮やかさの度合いを、0から14程度までの数値で表します。色味のない鈍い色ほど数値が小さく、白、灰、黒色などの無彩色は0になります。逆に、鮮やかな色ほど数値が大きくなります。

マンセル記号の見方

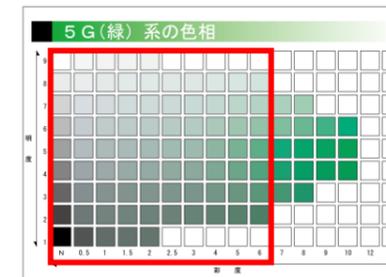
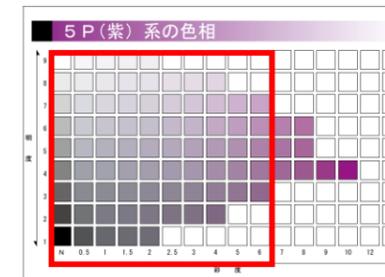
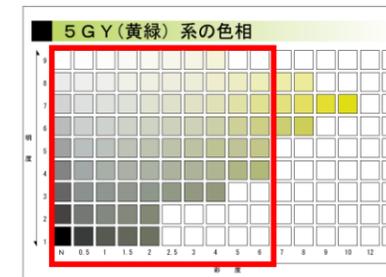
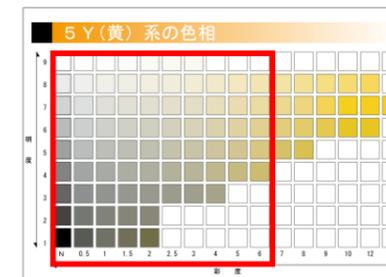
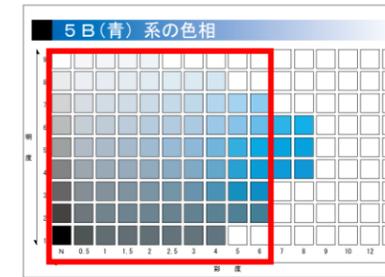
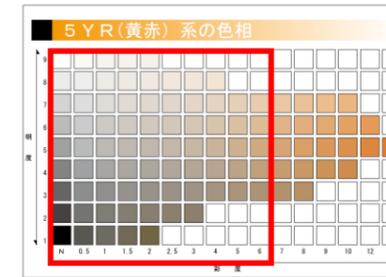
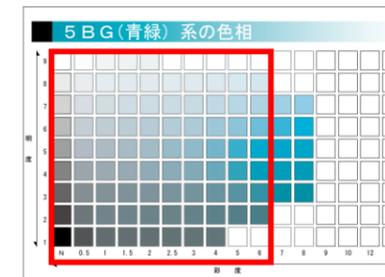
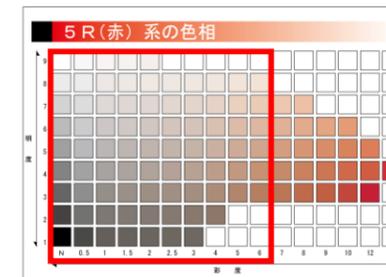
マンセル記号は、これら3つの属性を組み合わせ、ひとつの色彩を表す記号です。「色相、明度／彩度」の順に書き表します。

ご	あー	ろく	の	さん
<u>5</u>	<u>R</u>	<u>6</u>	/	<u>3</u>
色相		明度		彩度



景観形成基準に示した色彩

景観形成基準に示した「色彩」の目安範囲を以下に示します。



※この色表は印刷によって実際の色と異なる場合があります。